

※第三期中期目標期間：令和7年度～12年度（6年間）

## 前文

兵庫県公立大学法人は、豊かで多様な自然と社会を有し、世界に開かれ日本の近代化を先導した地域である兵庫の知の拠点として、人文科学、社会科学及び自然科学の発展とこれらの融合を目指す教育と研究を推進することにより、豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成し、あわせて学術的な新知見を国内外に発信し、もって地域の活性化と我が国の発展に寄与することを目的として、県が設立した。

法人は、この目的を達成するため、兵庫県立大学及び芸術文化観光専門職大学を設置し、両大学を管理運営している。

兵庫県立大学は、旧3大学の伝統と総合大学の強みを生かした個性・特色豊かな大学づくりに取り組み、また、芸術文化観光専門職大学は、芸術文化及び観光の双方の視点で社会に貢献する大学となるよう取り組んできた。

今日、大学を取り巻く環境は、気候変動による自然災害の続発や急速な少子化、新型コロナウイルス感染症の蔓延を契機とした遠隔教育の普及や生成AIの台頭、国際情勢の不安定化など、我々の想像を遙かに超えるスピードで変容している。

先が見えない時代だからこそ、若者たちには失敗を恐れず、果敢に挑戦するたくましが求められており、県では、若い世代が抱える不安を取り除き、一人ひとりの個の力を伸ばす環境を整えるため、「若者・Z世代応援パッケージ」を集中的に展開し、その大きな柱として、県立大学の授業料等無償化を打ち出した。

このような情勢において、一人一人の多様な幸せと社会の持続的な発展に向けて、両大学が果たすべき役割は、ますます高まっている。両大学がこれからも弛まぬ大学改革に留意し、対応すべき社会ニーズ・社会課題を先見的に見定め、各大学の様々な学問分野の知見を総合的に活用し、世界や地域が直面する課題の解決に貢献する独創的、学際的な教育、研究を行い、社会から選ばれ、評価される、世界水準の大学となるよう、以下のとおり兵庫県公立大学法人の第三期中期目標を定める。

## 第1 基本的な目標

### 1 兵庫県立大学 ～次代を先導する世界水準の大学～

豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成し、あわせて学術的な新知見を国内外に発信し、もって地域の発展と我が国の繁栄、ひいては世界、人類の幸せに貢献することを目標とする

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 国内外で活躍できる創造力と自律性を有する人材を育成する大学
- ② 次代を切り拓く独創的・学際的な研究を推進する大学
- ③ 地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学

### 2 芸術文化観光専門職大学

#### ～芸術文化及び観光の双方の視点で社会に貢献する大学～

芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出する専門職業人を育成し、あわせて地域に根ざした教育研究活動を推進し、もって地域及び国際社会に貢献することを目標とする

【今後一層めざすべき大学像】

- ① 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し、社会に貢献する専門職業人を育成する大学
- ② 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学
- ③ 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

#### 教育

##### ア グローバル社会で活躍できる人材の育成

- **全学的なグローバル教育を推進**することにより  
グローバルな視野と外国語コミュニケーション能力に加え  
異文化に対する理解と深い教養、世界を舞台に挑戦する主体性を備えた  
グローバルな社会で活躍できる人材を育成する
- **海外留学、海外からの留学生や研究者の受入促進**など、国際交流を推進する

##### イ 地域を支える専門人材の育成

- 公立大学として地域の特色を生かした教育の推進やGX・DX等の  
**地域ニーズに応えるリカレント教育・リスキリングプログラムの推進**により  
主体的に地域課題の解決に取組み、地域の活性化に貢献できる人材を育成する

##### ウ 社会のニーズを踏まえた高度な専門性を有する人材の育成

- DX教育の推進により、  
**データ分析や生成AIなどの最新技術を利活用することができる**  
社会のニーズを踏まえた高度な専門性を有する人材を育成する
- 各専門領域における**大学院教育を充実**させ、**国際的に運用する高度専門人材を育成する**

##### エ 総合大学の強みを生かした幅広い知識を有する人材の育成

- 予測困難で変化の激しい時代を生き抜くため、新たな価値を創造し、社会課題を解決できるよう、総合大学の強みを生かした**文理融合、学部横断型の学際的な教育を推進**し、幅広い知識を有する人材を育成する。

#### ポイント（見直しの方向性）等

- ◇ グローバル教育のさらなる充実(**ビジョン:グローバルコラボレーション機能の発揮**)
- ◇ 公立大学として、**県民と社会の高等教育のニーズに応え、産業界等との連携により主体的に地域課題に取り組み、地域に貢献できる人材の育成が求められている**
- ◇ 急速なDX化に対応した**専門分野の知識・技能を有する人材育成が急務とされている**
- ◇ 知識や情報を組み合わせて新たな価値を創出する人材を育成するという観点から**文理融合・学部横断の教育の重要性が増している**

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ グローバル教育の全学的な展開
  - ◇ 交換留学等の充実、留学生の受入促進
  - ◇ 地域課題への取組強化、リカレント教育の推進
  - ◇ 学部横断型数理・データサイエンス・AIプログラムの充実
  - ◇ 博士人材や女性理工系人材の育成
  - ◇ 教養教育改革の推進
- 等々

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 英語で行われている講座数
- ◇ リカレント教育・リスキリングプログラム実施件数
- ◇ 博士人材キャリア開発プログラム実施件数
- ◇ 教養教育改革の推進

#### オ 人材育成に向けた教育システムの充実

##### (ア) 教育の質保証

- 兵庫県立大学がめざす教育を達成するため、**自ら点検及び評価**を行いその評価結果を改善につなげるP D C Aサイクルが適切に機能するよう**継続的に教育システムを見直す**

##### (イ) 多様な学生の確保

- 国内外から選ばれる大学として、意欲的で優秀な学生を確保するため**効果的・戦略的な広報活動を展開**する
- アドミッション・ポリシーに沿った**多面的・総合的な評価制度**を行うことにより多様な学生を確保する

##### (ウ) 学生支援の充実

- 多様な学生のニーズに柔軟に対応し、社会の変化に対応できる有為な職業人として成長できるよう、**学修支援、生活支援、就職支援**など学生が直面する課題に適切に対応する
- **ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの理念を浸透**させ意識改革を推進する

##### (エ) 中高大連携の強化

- 附属中学校、高等学校の6年間を一体的に捉えた**中高一貫教育の充実、強化**を図る
- 県内高等学校と兵庫県立大学との連携強化を図る

#### ポイント（見直しの方向性）等

- ◇ 学修者本位の教育の実現のため、**質保証の強化**
- ◇ 現中期目標の(ア)時代の変化に対応した人材育成の仕組みづくりを細分化。優秀で意欲的な人材を確保するため、**多様な能力や経験を評価する選抜方法を拡充**
- ◇ **キャリア教育の強化。DE&Iの理念を大学運営に浸透**
- ◇ **高大連携の充実(ビジョン:附属高校,SSH等との連携強化)**

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 教学IRの実施による教育改革の推進
- ◇ 入試広報の充実・入学者選抜方法の拡充
- ◇ 多様な学生のニーズに対応した就職支援等
- ◇ 附属中高大連携教育の充実
- ◇ SSH、国際系高校との連携 等々

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 全学的なFD・SDの実施 研修1回/年
- ◇ 学部・一般入試の大学入学者志願者倍率  
公立大学全国平均以上/年
- ◇ インターンシップ関連科目の履修者数
- ◇ 中高大連携の強化

#### 研究

##### ア 高度な研究基盤を活用した先端研究の推進

- SPring-8-Ⅱ、ニュースバル、スーパーコンピュータ「富岳」などの**高度な研究基盤や、先端医療工学研究所などの優れた研究拠点を活用し**特色ある最先端・異分野融合の研究をさらに推進する
- 論文数の増に加え、査読付きや引用度の高い論文など**質の向上を図るとともに**その**研究成果**についても、**広く世界へ発信**する
- 若手、女性、外国人など研究者の多様性を高めることで**知の集積拠点として、より一層の高度化を図るとともに****持続的に新たな価値を創出し**、発展し続けるための基盤を構築する

##### イ 兵庫の先進的な取組を活用した実践的な研究の推進

- **減災復興や災害看護**など、兵庫が先導してきた取組をさらに国内外に発信し次世代に伝えるとともに、**国内外の大学、研究機関等と連携**しながら**県民に還元すべき実践的な研究を引き続き推進し****レジリエントな社会の実現**を目指す

##### ウ 社会課題の解決に向けたイノベーションの創出

- **大学の総合知を共創**し、より良い社会の実現に寄与するため関係学部、研究科、附属研究所の他、関係機関や行政と連携をしながら研究により得られた**知見の社会実装を進め**、社会イノベーションを創出する

#### ポイント（見直しの方向性）等

- ◇ 研究力の向上、質の高い研究成果を創出する研究基盤の構築**(ビジョン：先端研究への挑戦)**
- ◇ 減災復興や災害看護など兵庫が先導してきた取組を県民に発信するなど**社会に還元できるよう実践的な研究を推進(ビジョン：レジリエントなまちづくり)**
- ◇ 複雑化する社会課題に対応するため、人文・社会科学と自然科学を含むあらゆる「知」の融合による**「総合知」を活用した取組を推進(ビジョン：総合知の共創)**

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 全学的な異分野融合研究の推進
- ◇ 多様で優秀な研究者の確保
- ◇ 水素社会の実現に向けた取組の推進
- ◇ L X 促進とデータヘルスに基づく研究の推進
- ◇ 持続可能な社会を創造するプロジェクトの展開 等々

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 査読付き論文数
- ◇ 優秀な若年研究者の獲得及び育成・人材定着
- ◇ 兵庫県の課題解決に向けた調査・研究
- ◇ 防災・減災対策への貢献
- ◇ 国際共著論文の数

### 兵庫県立大学

### (3) 地域とつながり、兵庫の未来を共創する大学

#### 社会貢献

##### ア 未来社会を先導する産学官連携の推進

- 自治体や民間企業との連携を深め、**地域のシンクタンク**として、**新たな価値を生み出していく仕組みを構築**する
- 社会課題の解決に資する**共同研究の推進**や**スタートアップ企業**の育成を強化する

##### イ 兵庫の強みを生かした災害に強い地域づくりへの貢献

- 兵庫県立大学の**強みである防災・減災に関する知見**を生かし、**南海トラフ巨大地震対応に優先的に取り組み**、**国内外の研究機関や自治体等との連携を強化**し、**研究成果を社会実装**することで災害に強い地域づくりに貢献する

##### ウ 共創による持続可能な地域づくりの推進

- 兵庫県立大学が有する**教員など様々な資源を活用**し、**地域創生**をはじめとした**地域の課題解決や新たな地域づくり**などについて、多様な主体と連携して積極的に取り組み**県が抱える課題の解決に寄与**する

##### エ 次世代の兵庫を担う人材の育成と地域の期待に応える取組の推進

- 地域社会と連携し、**学生の県内企業への理解を深化させる取組を強化**するなど引き続き、次世代の兵庫を担う人材の県内就職促進を図る

#### ポイント（見直しの方向性）等

- ◇ **機構・大学・県と三位一体の取組強化が求められていることから、減災復興に関する実践的な研究及び成果を県民に情報発信**し、災害に強い地域づくりに寄与（**ビジョン：レジリエントなまちづくり**）
- ◇ 地域の知の拠点・シンクタンクとして、**総合知を活用した研究成果を社会実装**することで、持続可能な地域づくりに貢献（**ビジョン：総合知の共創**）

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ ニュースバルの産業利用の促進
- ◇ 大学発ベンチャーの創出
- ◇ 総合知を活用した研究成果の社会実装
- ◇ 県民ニーズに応えるリカレント教育の充実
- ◇ キャリア教育と実践的な就職支援 等々

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 大学発ベンチャーの創出件数
- ◇ 地域連携事業の実施件数
- ◇ 県内就職率

### 芸術文化観光専門職大学

## (1) 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し 社会に貢献する専門職業人を育成する大学

### 教育

#### ア 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして新たな価値を創造できる人材の育成

- 演劇的手法を用いた対話的コミュニケーション能力を基礎とし  
合意形成を図りながら芸術文化と観光の両分野の事業活動を推進できる能力の養成に向けた教育を推進することにより、芸術文化及び観光の視点を生かして新たな価値を創造できる専門職業人を育成する

#### イ 地域活性化に貢献する専門職業人の育成

- 地域社会をフィールドに、大学と企業・自治体等で課題認識を共有し  
新たな価値の創造により、芸術文化の発展及び持続可能な観光の振興に繋げ  
地域を活性化し、我が国に活力をもたらす専門職業人を育成する

#### ウ 世界で活躍できる専門職業人の育成

- 国際的に通用する芸術文化及び観光に関する専門的な知識・技能や語学力を兼ね備え  
地域で生み出された芸術文化及び観光の新たな価値を世界に発信し得る  
世界で活躍できる専門職業人を育成する

### ポイント（見直しの方向性）等

- ◇ 大学が育成する人材像や社会や時代の要請に応えるカリキュラム改革に重点を置き、表現方法を変更
- ◇ より実践的なグローバル人材の育成を目指し、表現方法を変更

### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 演劇的手法を用いた対話的コミュニケーション能力の養成
- ◇ 芸術文化及び観光マネジメント能力を養成するためのカリキュラム編成
- ◇ 地域と連携した多様な教育プログラムの展開
- ◇ 実践的な語学教育の強化
- ◇ 海外実習等の更なる充実
- ◇ 留学生の受入促進、日本語教育の充実 等々

### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 芸術文化と観光を架橋する教育に対する学生理解度
- ◇ 但馬地域と連携した実習の履修者数
- ◇ 学生の海外派遣の人数

### 芸術文化観光専門職大学

## (1) 芸術文化及び観光の双方の視点を生かして地域の活力を創出し 社会に貢献する専門職業人を育成する大学

### エ 人材育成に向けた教育システムの充実

#### (ア) 多様な学生の確保

- 戦略的な広報を通じて大学のプレゼンスを向上させるとともに  
**多面的・総合的に評価を行う入学者選抜を実施し**  
アドミッション・ポリシーに合う多様な学生を確保する

#### (イ) 特色ある先進的な教育の推進

- 新たな時代を見据えた教育のあり方について検討するとともに  
**先進的な教育モデルをブラッシュアップし**、継続的に教育システムの見直しを行う
- **産業界や自治体等と連携した、より実践的な学びの機会を提供し**、  
他大学にはない独自性のある教育を展開する

#### (ウ) 学生支援の充実

- 多様な学生のニーズに柔軟に対応し、社会の変化に対応できる有為な職業人として成長できるよう、**学修支援、生活支援、就職支援**など  
学生が直面する課題に適切に対応する
- **ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの理念を浸透させ**  
意識改革を推進する

#### ポイント（第二期目標からの主な変更点）等

- ◇ 現中期目標は大学設置認可申請書の引用が多いため、  
兵庫県立大学と同様に(ア)入口(イ)教育内容(ウ)出口に  
切り口を変更し、**一貫教育を推進**

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 多様な入学者選抜の実施（入試改革）
- ◇ カリキュラムの適切な見直し
- ◇ 認証評価の結果を踏まえた教育内容の改善
- ◇ 産業界や地域社会との連携
- ◇ 高度な実践力と豊かな創造性を育成する教育方法の構築
- ◇ 学修支援、就職支援等の充実 等々

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 志願者倍率
- ◇ 質保証に関するFD・SD
- ◇ 就職希望者における就職率

### 芸術文化観光専門職大学

### (2) 芸術文化及び観光を架橋した地域活性化に資する研究を推進する大学

#### 研究

#### ア 専門職大学の強みを生かし、地域活性化に資する研究活動の推進

- 芸術文化及び観光を架橋した先導的・創造的な研究を推進し、地域のニーズと大学のシーズをマッチングさせることにより、地域課題の解決やイノベーションを創出する

#### イ 研究成果の社会への還元

- 産学官の協働関係・ネットワークを構築するとともに、共同研究、受託研究等を推進するとともに、研究成果を広く国内外に発信し、社会に還元する

#### ポイント（主な変更点）等

- ◇ 「教員の多様な研究シーズを広く地域に知ってもらい、地域ニーズとのマッチングがさらに求められる」との評価委員会の意見を反映

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 芸術文化観光学の推進
- ◇ 共同研究・受託研究の推進
- ◇ 外部資金の積極的な獲得
- ◇ 様々な媒体を用いた情報発信

等々

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 芸術文化・観光の両分野共同研究プロジェクト

### 芸術文化観光専門職大学

### (3) 地域の発展・繁栄及び新たな国際交流の推進に貢献する大学

#### 社会貢献

#### ア 大学が有する資源の地域社会における活用

- 地域連携拠点である「地域リサーチ&イノベーションセンター」のシンクタンク、コンサルティング、インキュベーション機能を強化し、県、市町、地元企業と協働しながら、芸術文化の発展及び接続可能な観光の振興に繋げ、地域活性化の好循環を実現するとともに、地域創生の新しいモデルを県内外に発信し、社会に還元する

#### イ 大学の特長を生かした地域貢献の推進

- 教員の半数が実務家教員という芸術文化観光専門職大学の特長を生かし、演劇的手法によるコミュニケーション教育や実践講座など小中高大連携をはじめとする地域連携を推進する
- 芸術文化観光専門職大学ならではの県民に新たな学びの場を提供するリカレント教育を推進する。

#### ウ 芸術文化及び観光に係る国際交流の推進

- 地域と連携した異文化交流の推進により、芸術文化及び観光に係る新たな国際交流の場を形成し、地域と世界を結びつける社会づくりに貢献する

#### ポイント（第二期目標からの主な変更点）等

- ◇ 芸観大ならではのリカレント教育の推進
- ◇ 地域と連携した異文化交流の推進

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ RICにおける相談対応件数

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 県施策と連携した教育の推進
- ◇ 地域活性化に資する取組の強化
- ◇ リカレント教育
- ◇ 地域の教育機関との連携
- ◇ 劇場や学術情報館の開放
- ◇ キャンパス内外での国際交流活動の実施

等々



## 1 戦略的経営の推進

### (1) 社会ニーズの変化に対応できる体制の構築

- 理事長及び学長のリーダーシップのもと、社会の変化に対応した大学改革を推進するため、**戦略的な大学運営の実現に向けた強靱なガバナンス体制を構築**する

### (2) 魅力発信と知名度向上

- 両大学が選ばれる大学であり続けるため、特色ある取組や優れた研究成果など他大学にはない強みや魅力を、ターゲットに応じて効果的に発信し、**ブランディングによる知名度向上**に取り組む

### (3) 教育研究基盤への計画的な新規投資

- 社会経済のグローバル化、高度情報化や環境・エネルギー、健康・医療ロボット・人工知能（AI）、芸術文化・観光等の成長分野への対応など新たな教育研究ニーズに応えるため**将来にわたる教育研究の発展を支える新規投資**を計画的に行う

### (4) 両大学間の連携

- 1法人2大学の強みを生かし、より良い教育・研究環境が実現できるよう情報共有や**両大学の経営資源の相互利用**などの連携した取組を行う
- これにより、教育、研究、社会貢献の各分野において**個々に進める以上の効果を発揮**するとともに、効率的な経営を推進する

## 2 効率的経営の推進

### (1) 経営資源の重点配分・相互利用

- 両大学の教育研究水準の維持・向上や将来構想の実現等に向け**限られた経営資源の重点的投入**や、**両大学の経営資源の相互利用**により**効率的、効果的な経営を推進**する
- 業務の効率化・高度化を図るため、法人全体でDXを推進する

### (2) 安全・快適な環境の計画的整備

- **計画的な施設整備と適切な維持管理の推進**により学生や教職員に安全・快適な教育環境を提供する

### ポイント（第二期目標からの主な変更点）等

- ◇ 事務局体制の強化・大学運営の効率化等の教育研究体制の充実
- ◇ 多様な人材が共創できる環境の実現

### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ メディアに取り上げられた件数
- ◇ 外国人教員比率

### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 教育研究体制の充実
- ◇ 教員評価制度の改善
- ◇ ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョンの推進
- ◇ 戦略的広報の展開によるブランドの構築
- ◇ 計画的な施設の建替整備
- ◇ 両大学の積極的な交流・共同研究の実施 等々

### ポイント（主な変更点）等

- ◇ 業務効率化を図るだけでなく、教職員の働きがいやQOLの向上を支援
- ◇ 法人全体のDXの推進

### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ DXの推進
- ◇ 教育研究環境の整備 等々

### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ マネジメント部門のDXの推進
- ◇ 働き方改革の推進

## 第3 管理運営に関する目標

### 3 自律的経営の推進

#### (1) 財務運営の改善

- 法人運営の自律性を高め、持続可能な財務構造を確立するため、**国の大型競争的資金や科学研究費補助金、企業との共同研究費など外部資金の獲得を促進**する
- ふるさと寄附やネーミングライツの活用など、**財政基盤の強化に向けた取組を強化**する

#### (2) 自己点検・評価及び情報の提供

- 自己点検・評価や法人評価委員会等による外部評価を踏まえながら、**組織や業務執行について不断の改善・改革**を進める
- 公立大学としての説明責任を果たし、県民及びステークホルダーの理解を得るため**法人情報等を積極的に公開**する

#### (3) コンプライアンスの推進

##### ア 法令の遵守

- 公共的な使命を持つ法人として、業務運営、研究活動における不正行為や公的研究費の不正使用を防止するため、**コンプライアンスを徹底**する
- 法人運営の透明性・公平性を担保するために、**内部統制体制の確立**を図る

##### イ 安全管理体制の確保

- 学生や教職員が安全かつ安心して学修や教育研究等を実施できるよう**安全・衛生管理や情報セキュリティ体制の充実**を図るとともに大学運営上、重大な影響を及ぼさないように**災害等に対する危機管理体制を強化**する

#### ポイント（第二期目標からの主な変更点）等

- ◇ ふるさとひょうご寄附金やネーミングライツを活用し、大学の自主性及び財政基盤の強化
- ◇ 情報の蓄積・整理を適切に行い、ステークホルダーへの説明責任を果たす

#### 次期中期計画で想定される関連項目等

- ◇ 外部資金の獲得
  - ◇ 内部質保証の推進
  - ◇ コンプライアンス事案の発生防止
  - ◇ 情報セキュリティの強化
  - ◇ BCPの適切な運用
- 等々

#### 関連するKPI等 [想定]

- ◇ 外部資金獲得額
- ◇ 内部統制の実施、BCPの運用